

教育研究データ

| | | | |
|--------------------------------|----------------|--|-------------------|
| 1. 氏名 | 岡 利 道 | | |
| 2. 生年月日 | 1957年9月19日 | | |
| 3. 取得学位 | 修士（教育学） | | |
| 4. 教育業績 | | | |
| 教育上の能力に関する事項 | 年月 | 概要 | |
| (1) 教育内容・方法の工夫 | 2016年4月 | ① ICT機器（iPad）やデジタル教科書を活用した授業方法の工夫・改善をし、Glexaシステムを活用もして、授業外における自律学修の促進を図っている。 | |
| | 2016年10月 | ② ルーブリック評価を取り入れ、学修の見通し・ゴールを明確に持たせるようにしている。 | |
| (2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | 2017年8月 | ① 教育研究センターより前年度の学生による授業評価の上位者に選出され、7月に平成29年度前期授業評価に基づく授業公開（国語科教育法）を行い、8月にその成果を基に同センター主催「FD・SD研修会」の分科会講師を務めた。 | |
| | 2023年2月 | ② 学内冬期FDSD研修会で、分科会「学生の図書館利用の促進に向けて」の講師を務めた（石井附属図書館事務長と協同）。岡は同図書館長として「図書館利用を取り入れた授業運営」をレクチャーした。 | |
| 5. 研究業績 | | | |
| (1) 著書 | 単著 共著 の別 | 発行の年月 | 発行所 |
| ① 自覚的な表現者を育てる－小学校国語科の授業－ | 共著 | 2002年7月 | 溪水社 |
| ② 初等教育学入門 | 共編著 | 2010年3月 | 広島文教女子大学 |
| (2) 学術論文 | 単著 共著 の別 | 発行の年月 | 掲載誌および巻/号、頁 |
| ① 読むよろこびを育む読書指導 | 共著 | 2019年2月 | 文教国文学, 第63号, 1-13 |
| ② 追試をするということの価値 (I)－国語科「うとてとこ」 | 単著 | 2020年2月 | 文教国文学, 第64号, 1-12 |

| | | | |
|---|----------|---------|----------------------------|
| (詩) の授業に即して― | | | |
| ③ 追試をするということの価値 (Ⅱ)―国語科「うとてとこ」(詩) の授業に即して― | 単著 | 2021年2月 | 文教国文学, 第65号, 1-9 |
| ④ 追試をするということの価値 (Ⅲ)―国語科「うとてとこ」(詩) の授業に即して― | 単著 | 2022年2月 | 文教国文学, 第66号, 1-7 |
| ⑤ 評論文読解用「学習の手引き」に ついての共同研究 | 共著 | 2022年3月 | 広島文教教育, 第36巻, 73-85 |
| (3) 研究・作品発表 | 発表の年月 | | 発表学会等 |
| ① 国語科教育の必要性と意義に関 する研究―伝統的な言語文化の 事例をもとに― | 2016年10月 | | 広島文教女子大学国文学会平成28 年度研究集会 |
| ② 大学生に国語科模擬授業で追試 をさせることの是非について― 野口芳宏氏の実践「うとてとこ」 (詩) の場合― | 2019年10月 | | 広島文教女子大学国文学会令和元 年度研究集会 |
| (4) 所属学会 | | | |
| ① 全国大学国語教育学会 | | | |
| ② 表現学会 | | | |
| ③ 国語教育史学会 | | | |
| ④ 広島文教大学教育学会 | | | |
| ⑤ 広島文教国文学会 | | | |